

9年間で目指す子供像

- ・英語を学ぶことで自分の可能性を広げ、グローバルな視点に立って主体的に世界とつながる子供
- ・中学校卒業時に英語検定3級以上*の英語力を有する子供（目標達成率:50%以上）

*CEFR A1 レベル以上



CAN-DOリスト形式の学習到達目標【学年ごと】

学 年	聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
中3	はっきりと話されれば、社会的な話題や日常的な話題に関するまとまりのある英文を聞いて、感想や賛否、その理由を考えながら概要や要点を捉えることができる。	社会的な話題や日常的な話題に関するまとまりのある英文について、要点や書き手の意見や考えなどを読み取ることができる。	社会的な話題や日常的な話題について、自分の考えや気持ちを伝えたり、質問に対して既習の語句や表現を用いて即興的に答えたりして、2分程度のやり取りができる。	社会的な話題や日常的な話題について、キーワードやメモ、マッピングなどをもとに、自分の意見や主張を含めて、聞き手に対して分かりやすく話すことができる。	社会的な話題や日常的な話題について、論理的な展開や段落を意識して、自分の考えや意見などを読み手に正しく伝わるように、英文を書くことができる。
中2	はっきりと話されれば、日常的な話題についての会話やまとまりのある英文を聞いて、概要や要点を捉えることができる。	日常的な話題などに関するまとまりのある英文について、概要や書き手の意見、考えなどを読み取ることができる。	日常的な話題について、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の質問に対して簡単な語句や表現を用いて答えたりして、1分半程度のやり取りができる。	日常的な話題について、キーワードやメモ、マッピングなどをもとに、自分の考えや気持ち、理由等を含めて話すことができる。	日常的な話題について、文と文のつながりを意識して自分の考えや意見を説明する英文を書くことができる。
中1	はっきりと話されれば、関心のある話題に関する短い会話や英文から必要な情報を聞き取ることができ、概要を捉えることができる。	自分の身の回りの人や事柄に関する会話文やまとまりのある文章を読み取ることができる。	関心のある話題や日常的な話題について、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の質問に対して簡単な語句や表現を用いたりして、1分程度のやり取りをすることができる。	関心のある話題や日常的な話題について、キーワードやメモ、マッピングなどをもとに、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	自分のことや身の回りのことについて、文字や符号の認識、語と語の区切りやつながりに注意しながら、簡単な語句や英文を用いて書くことができる。
小6	ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な話題について、基本的な語句や表現をもとに具体的な情報を聞き取ることができる。	活字で書かれた文字を識別し、読み方を発音できるとともに、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を基に、意味を推測しながら内容を理解できる。	自分や相手のこと及び日常的な話題について、簡単な語句や表現を用いて自分の考えや気持ちを相手に伝えたり、適切な相づちやジェスチャーを使ったりしながら、相手と5往復程度のやり取りができる。	自分のことや日常的な話題について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちを含めて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	大文字、小文字を活字で書くことができるとともに、自分のことや身近で簡単な話題について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、書くことができる。
小5	ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや日常生活に関する身近で簡単な話題について聞き取り、短い話の概要を捉えることができる。	活字で書かれた文字を識別し、読み方を発音できるとともに、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が理解できる。	自分や相手のこと及び身の回りの話題について、簡単な語句や表現を用いて自分の考えや気持ちを伝えたり、ジェスチャーを使ったりしながら、相手と4往復程度のやり取りができる。	自分のことや身の回りのものについて、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちを含めて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	大文字、小文字を活字で書くことができるとともに、自分のことや身近で簡単な話題について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を用いて書くことができる。
小4	文字の読み方が発音されているのを聞いて、どの文字であるかが理解することができる。ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身近で簡単な話題に関する簡単な語句や基本的な表現の意味が理解できる。		身の回りの話題について、簡単な語句や表現を用いて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、相手に質問したりすることができる。	自分のことや身の回りのものについて、自分の考えや気持ちなどを、人前で実物を見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうにする。	
小3	文字の読み方が発音されているのを聞いて、どの文字であるかが分かる。ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りのものを表す簡単な語句を聞いて意味が理解できる。		身の回りの話題について、簡単な語句や表現を用いて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、サポートがあれば相手に質問したりすることができる。	自分のことや身の回りのものについて、人前で実物を見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうにする。	
小2	歌やリズム遊びなどを通して、英語を聞いたり、まねしたり、繰り返したりしながら身の回りのものを表す簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。		身の回りの物を表す簡単な語句や表現について、ジェスチャーを交えながら相手に伝えようとしたり、相手に質問したり、質問に答えようとしたりしている。	歌やリズム遊びなどを通して、慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。	
小1	英語を聞いたり、まねしたり、繰り返したりしながら歌やリズム遊びを楽しみ、身の回りのものを表す簡単な語句を聞き取ろうとしている。		サポートを受けながら、英語の挨拶や身の回りのものを表す簡単な語句や表現を、相手に伝えようとしている。	サポートを受けながら、歌やリズム遊びなどを通して、慣れ親しんだ簡単な語句を用いて話そうとしている。	

※「CAN-DOリスト形式の学習到達目標」は、各学校の実態に応じて変更しながら活用してください。